
現実を見つめて

りゅーたろう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

現実を見つめて

【Nコード】

N5938Y

【作者名】

りゅーたろう

【あらすじ】

大学生の棚橋竜は学生放送局のサークルに入局する事にする。単なる暇つぶしのつもりで入ったサークルには極端に人数が少ない。そこにはある事件が隠されているのであった。

第一章 春

まるで夢のような日々だった。あんな気持ちになれたのもあの時が最初で最後だった。

五年前、春。僕の名前は棚橋竜。高校卒業した後一年間浪人生活を送り京都の大学に進学できた。と言っても立地が最悪で、キャンパス周辺はほとんど田んぼや畑で埋まっておりますカラオケなどの娯楽施設なんてものは電車を利用しなければいけなかった。

「いつかは慣れるだろう」

そう思いこらえるしか出来なかった。華のキャンパスライフを送る気は無い。純粹に勉強して、将来の土台を作るためとしか大学を見ていなかった。もちろんこの見方は“一人暮らしを飽きさせないようなお店がある”と言う前提だった。本屋も無いのは驚きを隠せない。必然的に発生する暇な時間。図書館の本ではさすがに無理があった。

いつしか僕の胸のなかにはある考えが秘められるようになった。

「サークルに参加しよう」

これがすべての始まりだった。

五月。まだキャンパス内には様々なサークルの勧誘のチラシが貼ってある。どれもこれも一様に見え、特異性のあるサークルは無かった。しかし授業のため教室へ向かう途中、初めて見るチラシが僕の目を引いた。そこにはマスコットキャラクターがヘッドフォンをしているイラストが描いてあり、下部には学生放送局！と太字で書かれている。放送には興味が無かったが、僕はチラシに載っている局長にメールをすることにした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5938y/>

現実を見つめて

2011年11月18日04時52分発行